別紙５の１（総合的な探究の時間）

東京都立　石神井高等　学校　全日制　課程　　普通　　科

令和５年度「総合的な探究の時間」の全体計画

１　「総合的な探究の時間」の校内での名称（実施学年ごとに記入する）

第１学年　「人間と社会」、第２学年　「総合」、第３学年　「総合」

２　学校の教育目標

旧制中学から続く８０年の歴史を積み重ね、文武二道の両立を実践する伝統校として、本校が発展してきた過程を踏まえ、学校全体のチーム力を高め、次のような生徒を育成することを目標とする。

①　自ら学習に励み、生得の才能を伸ばし、人間としての矜持をもつ人物。

②　グローバルな社会人として必要な資質を絶えず養い、積極的に社会の進歩に寄与する人物。

③　自他の人格を尊重し、自らの個性を生かしつつ他者とも協調して新たな価値を創造できる人物。

３　各学校において定める「総合的な探究の時間」の目標

・探究の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、自己を見つめ、自分でよりよく課題を発見し解決していく力、他者とも協調して新たな価値を創造できる力、積極的に社会の進歩に寄与する力を育成する。

・価値の理解を深め、選択・行動に関する能力を育成し、体験活動などを通して、道徳性を養い、形成した判断基準（価値観）をさらに高め、社会的現実に照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。

４　生徒・学校・地域の実態

生徒・・・明るく活発で、部活動や行事に意欲的な生徒が多い。

学校・・・伝統ある進学校であり、行事・部活動が盛んである。丁寧な指導により、落ち着いた学習環境が確立している。

地域・・・地域の中学校、福祉施設との交流も深く、地域からも支持されている。

５　指導体制（実施学年ごとに記入する）

週時程に位置付け（水曜日の５校時）、各学年３５時間１単位、合計３単位

１学年　「人間と社会」の内容を実施する。各教科と協力し、担任８名を中心に全教員で協力して指導に当たる。体験活動は、放課後、夏季休業期間にも行い、部活動単位での実施も含む。
学習の評価　資質・能力の三つの柱に沿う３観点のルーブリックによる評価を活動の過程、態度、発表・まとめにより総合的に行う。

２学年　各教科と協力し、担任７名を中心に全教員で協力して指導に当たる。
学習の評価　資質・能力の三つの柱に沿う３観点のルーブリックによる評価を探究の過程、態度、発表・まとめにより総合的に行う。

３学年　各教科と協力し、担任７名を中心に全教員で協力して指導に当たる。
学習の評価　資質・能力の三つの柱に沿う３観点のルーブリックによる評価を探究の過程、態度、発表・まとめにより総合的に行う。自主的な取り組みの態度を重視する。

６　育てようとする資質や能力及び態度

（知識・技能）課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究を自ら進める資質・能力を育てる。（思考・判断・表現）実社会と自己との関わりから課題を発見し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できるようにする。（学びに向かう力）主体的・協働的に探究に取り組み、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。（「人間と社会」）道徳性を養い、形成した判断基準をさらに高め、社会的現実に照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。

7　内容（学習対象、学習事項）（実施学年ごとに記入する）

１学年
（１）座学　２３時間
第２章　学ぶことの意義　４時間、第３章　働くことの意義　４時間
体験活動の事前学習　　２時間　体験活動の事後学習、報告書の作成や発表　　２時間
探究（生徒が任意の章を選択）課題設定　３時間、情報収集　２時間、整理・分析　３時間、まとめ・表現　３時間
（２）体験活動　１２時間
教育庁地域教育支援部「社会的・職業的自立支援教育プログラム」の活用、祭り・大会・展覧会・農園体験ボランティア、子育て広場で子どもの遊び相手、中学生等へのスポーツ指導（社会福祉施設やすらぎの杜祭り、武蔵関ふれあいまつり、石神井特別支援学校祭り、武蔵関地区祭り、ハンドボール大会、東京都現代美術館、都高等学校文化連盟写真展）、模擬裁判、演劇体験

２学年
・探究の見方・考え方を働かせ、修学旅行先の広島・四国の地域や社会、人、もの、こと、平和学習に関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにする。
・各教科・ホームルーム活動と連携して課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
・グループ単位で探究活動を行い、仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したり、論理的にまとめ、発表する。
・探究活動に主体的・協働的に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献する態度を育てる。

３学年
・探究活動の発表を行うことで、プレゼン力ならびに正しく評価する力を育む。

8　学習活動

１学年
・座学　テキストに基づき、ペアワーク・グループワーク・ワークシートを活用しながら自己の意見を述べたり他者の意見を聞いたりする主体的・協働的学習を行い、基本的な内容を理解し、自己の価値観を高め、人生の諸場面を考察する。
探究（生徒が任意の章を選択し探究的活動を実施）
・体験活動　体験先の受け入れ人数・活動時間数により、生徒の希望も考慮し、学年単位、グループ単位、部活動単位で実施する。体験後、報告、感想文等を作成する。
２・３学年
・各生徒が、興味関心に応じてテーマを設定し、グループを構成する。グループ単位で探究活動を行い、まとめの報告書を作成し、発表する。

9　指導方法

１学年　座学は、担任が演習で進め、生徒が主体的・対話的で深い学びを用いた問題解決学習をすることを中心として指導する。体験活動は、座学の学習単元に関連する体験活動と地域との連携の中で実施してきた奉仕体験活動を副担任や部活動顧問も含めて指導に当たる。
２学年　学年担任と教科担当が連携して指導する。探究活動の行い方について、テキストを用いたり、外部講師による講演も活用したりして、指導する。
３学年　進路指導部と協力し、担任７名を中心に全教員で協力して指導に当たる。探究活動の行い方について、テキストを用いたり、外部講師による講演も活用したりして、指導する。

１０　各教科等との関連

教科横断的な活動として、全教科に関連付けて実施する。国語・地歴・公民・英語では、コミュニケーション能力・自己理解、芸術・体育・家庭では、協働的に取り組む態度を培い、情報・保健では、分析・発表、数学・理科では、課題解決の指導を行う。

１１　外部との連携

学年担任を中心に指導内容により各教科・各分掌が窓口となり、大学、企業と連携し、大学・企業訪問、ゼミ・研究室・職場体験、地域の老人ホーム、子ども家庭支援センター、盲導犬訓練施設、社会福祉施設、商店街、特別支援学校、中学校、公園や美術館、練馬区選挙管理委員会と連携し、奉仕体験活動を実施する。

別紙５の２（総合的な探究の時間）

東京都立　石神井高等　学校　全日制　課程　　普通　　科

令和５年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

（１学年）

１単位時間の時間（　５０　）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4 5 6 7 8	事前学習 第２章「学ぶことの意義」 第３章「働くことの意義」 探究 体験活動	・「人間と社会」について、概要・スケジュール・体験活動等を説明する。 ・体験活動についての調査研究をさせる。 ・テキストを用いた演習 ・ペアワーク・グループワークによるアクティブ・ラーニング ・課題設定（生徒がテキストの任意の章を選択し、課題を設定する。） ・老人ホームでの認知症予防・ハンドマッサージの補助 ・子ども家庭支援センターで子どもの遊び相手 ・盲導犬訓練施設での補助 ・社会福祉施設・近隣商店街・地区・特別支援学校での祭りの補助 ・ハンドボール大会補助 ・都美術館でのボランティア ・都高等学校文化連盟写真展補助 ・農園体験補助 ・中学生等へのスポーツ指導	（事前学習） ・「人間と社会」について趣旨・目標・意義と演習・体験活動の仕方を理解することができた。 （演習） ・自己理解・自己管理への考えを深めることができた。 ・責任・勤勉・キャリアプランニングへの考えを深めることができた。 ・自分の課題を見つけ、探究の計画を立てることができた。 （体験活動） ・自分の体験活動を見つけ、実施計画を立てることができた。 ・体験活動に主体的に取り組むことができた。 ・学校が作成した自己評価シートや受け入れてくれた体験活動先からの評価（参加状況・実施内容・活動中の態度等）を参考にする。	2 4 4 3 6
2	9 １０ １１ １２	探究 体験活動	・情報収集 ・整理・分析 ・弁護士会による模擬裁判 ・地域清掃	・課題解決に向け、情報を収集し、整理・分析できた。 ・政治や選挙への関心を高め公正に判断し社会参画する意欲を高めることができた。 ・体験活動に主体的に取り組むことができたか。	2 3 6
3	1 2 3	事後学習 探究	・体験活動のまとめの報告・感想文の作成や発表 ・まとめ・表現、論文の作成や発表 ・探究活動の進め方を振り返り、改善点を考える。	（事後学習） ・体験活動を通して、価値観を高めよりよい生き方を選択できるようになった。自己評価 ・学習成果の達成状況について、報告書・論文をまとめ発表することができた。	2 3
配当時間数の合計					３５

別紙５の２（総合的な探究の時間）

東京都立　石神井　高等学校　全日制　課程　　普通　　科

令和５年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

（２学年）

１単位時間の時間（　５０　）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	ガイダンス	・総合的な探究の時間のねらい、学習内容・方法を理解させる。 ・「探究」とは何か、「探究」の実践例、「探究」のプロセス等について、外部講師の講演	・総合的な探究の時間の趣旨・目標・意義・内容・方法を理解することができた。	2
	5 6 7	広島・四国を中心とした地域研究及び平和学習のグループ研究	・広島・四国地方の地理・歴史・文化・自然環境等及び平和学習について学習する。 ・各自の興味関心に基づき、探究グループを構成し、グループの探究テーマを設定する ・グループ内での担当、計画、スケジュールの作成、情報の収集、整理、分析、まとめ、発表を行う。	・地域の文化等に関心を持てた。 ・地域、平和について理解できた。 ・グループの探究テーマ設定に主体的に関わった。 ・グループの探究計画の作成に主体的に関わった。 ・課題解決に向け、情報を収集し、整理、分析ができた。 ・まとめ、発表を行うことができた。	5 2 1 2
2	9 10	グループ研究	・探究テーマについて、情報の収集、整理、分析、課題解決の方策を研究する。	・課題解決に向け、情報を収集し、整理、分析、課題解決の方策の研究ができた。	8
	11	中間発表	・探究の進捗状況について、各グループが発表する。	・中間発表に主体的に関わった。	2
	12	グループ研究	・探究テーマについて、中間発表の反省をもとに、情報の収集、整理、分析を行い、課題解決の方策を改善し発表する。	・課題解決に向け、情報を収集し、整理、分析、課題解決の方策の改善ができた。	6
3	1 2	グループ研究	・修学旅行終了後、探究を深める。 ・実際の修学旅行を、探究した内容の確認や新しい発見の場として活用する。	・校内では調べきれない内容等について、積極的に知ろうとした。 ・探究を深めることができた。 ・事前学習の内容を、現地で活用することができた。	5
	3	探究のまとめの報告書作成と発表	・報告書を完成させ、各グループが発表する。	・発表内容について、他者が理解できるような表現の工夫をしている。	2
配当時間数の合計					３５

別紙５の２（総合的な探究の時間）

東京都立　石神井　高等学校　全日制　課程　　普通　　科

令和５年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

（３学年）

１単位時間の時間（　５０　）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4 5 6 7	３年生の抱負 職業選択について考える 自己の将来に向けての具体的な取り組みを考える	高校３年生としての学校生活アンケートの実施とフィードバック。 様々な企業のＣＳＲ活動について、インターネット及び学校図書館を活用してグループで調査、比較を行う。外部人材を活用した利益追求と社会貢献等についての講演会を行う。グループごとに理想の企業像をまとめ、発表する。 将来の夢や希望･目標を設定し、目標達成のための、高校卒業後の進路についてグループで研究し、中間発表と評価を行う。	・アンケートに正対できた。 ・職業の大切さ、社会貢献の大切さを理解できた。 ・企業の在り方等について主体的に考え表現できた。 ・適切な課題を設定できた。協働して解決策を見出し表現できた。	3 4 4 4
2	9 10 11 12	自己実現に向けて、具体的な取組を考える。 大学を知る	卒業生によるキャリア教育講演会を実施。身近な先輩の進路実現に向けての取組を知り､1学期のグループでの取組を深化させ、個人でレポートを作成する。 志望大学学部について、グループで研究する。 志望大学学部の入学試験問題を、教科ごとにグループで収集・分析し、各教科で学んだ力を活用して予想問題を検討し作成する。	・中間発表の課題を改善できている。 ・グループでの学びを深化させ、自らの進路を主体的に考察できている。 ・仲間と協働し、各教科で学んだ内容を活用し、新たな問いを立てられている。	4 4 4 3
3	1 2 3	大学入試等の研究 ３年間の成果･反省	グループごとに､2学期に作成した予想問題の解答解説を行う模擬授業を行う。 自己実現に向けての取組・成果と課題をまとめ、後輩に残す。	・時間内に分かりやすく伝えるための表現の工夫ができた。 ・自己の在り方生き方を見つめることができている。	3 1 1
配当時間数の合計					３５